

「小学校6年生の春、親にねだって買ってもらったレコードはハンス・シュミット＝イッセルシュテット指揮ウィーン・フィルによるベートーヴェン《英雄》《田園》の2枚組でした。少年時代、来る日も来る日も繰り返し聴いたこれらのレコードがわたしに音楽への道を開いてくれたのです。62回目の誕生日に、我が原点である「英雄」を振ることにしました。そして、カップリングは、「第7」の双子児とも呼べる「第8」です。これぞベートーヴェン一流のユーモアと人間愛に溢れた傑作。わたしを育て、導いてくれた全ての『人』と『歴史』に感謝を込めて」

福島章恭



福島章恭 Akiyasu Fukusshima

桐朋学園大学声楽科卒。大阪フィルハーモニー合唱団指揮者。1996年、ベルギーのナミュールにて、フリーダー・ベルニウスの合唱指揮マスタークラス受講。「最高のコーラスマスター」として井上道義、尾高忠明、大植英次、ラドミル・エリシュカ、シモーネ・ヤング諸氏から絶大な信任を得る。

2006年ウィーン楽友協会にてモーツァルト「40番」「レクイエム」（チェコ・ブラハ管）。10年パチカン・システィーナ礼拝堂コンサート。2013年&19年ライブツィヒ聖トーマス教会にてバッハ「口短調ミサ」、16年「マタイ受難曲」。08年、17年ウィーン・シュテファン大聖堂にてモーツァルト「レクイエム」。19年ベルリン・フィルハーモニーホールにて、ブラームス「ドイツ・レクイエム」（ベルリン響）を指揮。

2023年10月、パチカン サン・ピエトロ大聖堂&イタリア・アッシジ大聖堂にて、なかにしあかね「4つの聖歌」初演指揮。2025年12月、ウィーン・シュテファン大聖堂にてモーツァルト「レクイエム」指揮を予定している。

音楽評論家として1994年アリオン賞（柴田南雄音楽賞）奨励賞受賞。

【著書】「新版クラシックCDの名盤」（宇野功芳・中野雄共著 文春新書）

「モーツァルト百科全書」「交響曲CD絶対の名盤」「バッハをCDで究める」ほか（以上、毎日新聞社）

【CD】「海道東征」と「未完成」（大阪フィル）、バッハ「口短調ミサ」（ザクセン・バロックオーケストラ、大阪フィル合唱団）

ベートーヴェン「7番」と「ジュピター」（東京フォルトゥーナ室内管）、ブルックナー「8番」（愛知祝祭管）ほか。



東京フォルトゥーナ室内管弦楽団 (コンサートマスター：相原千興)

2007年より桐朋学園大学、東京藝術大学出身の弦楽器奏者が中心となり結成。弦楽五部とチェンバロによるイタリアンバロックや弦楽六〜八重奏、室内管弦楽など様々な編成で定期演奏会や合唱団と共演、ソリストを迎えての活動を予定。ハーモニーを感じた緻密なアンサンブルに自由で生き生きとした音楽作りを目指している。

<会場のご案内>

杜のホールはしもと

〒252-0143 神奈川県相模原市緑区橋本3-28-1 ミウィ橋本7・8階

TEL 042-775-3811

JR横浜線・相模線、京王相模原線「橋本駅」北口を出て右側「ミウィ橋本」7階
新宿から【京王相模原線】橋本…約35分／新横浜から【JR横浜線】約37分

●お車でご来場の方へ

ホールご来場者用の駐車場はございませんので、近隣の駐車場をご利用ください。

なお、混雑する場合がございますので公共交通機関をご利用ください。

